

2017 年 4 月 1 日～2025 年 2 月 28 日の間に 当院脳神経内科・もの忘れ外来を受診された方及びご家族の方へ

—「慢性腎臓病患者における認知機能の特徴—軽度認知障害患者を対象として—」への
ご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 安田万里子
研究分担者 川崎医科大学附属病院 臨床心理センター 臨床心理士 谷英俊
川崎医科大学神経内科学 教授 三原雅史
川崎医科大学神経内科学 講師 久徳弓子

1. 研究の概要

近年、慢性腎臓病（以下、CKD）が認知機能障害と関連することが明らかにされています。CKD 患者では複数の物事を効率よく進めること、記憶すること、注意を維持することなどの認知機能低下が生じやすいことが報告されています。特に、61 歳以上の CKD 患者では健常群に比べて複数の事柄の同時処理や記憶の機能が低下することが示唆されています（Thornton et al., 2007）。認知機能低下は家事の遂行、趣味活動、意思決定、服薬順守などに影響を与える可能性があります。

本研究の目的は、当院もの忘れ外来を受診された 65 歳以上の方の中で軽度認知障害と診断された CKD ではない方、軽度認知障害と診断された CKD の方の神経心理学検査成績を比較し、CKD の有無による認知機能低下の違いを明らかにすることにあります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2017 年 4 月 1 日～2025 年 2 月 28 日の間に川崎医科大学附属病院脳神経内科・もの忘れ外来において軽度認知障害と診断された方の内 65 歳以上を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025 年 12 月 31 日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院脳神経内科・もの忘れ外来を受診した方に研究者が実施した神経心理検査結果のデータを統計処理し、軽度認知障害と診断された慢性腎臓病の方の認知機能の特徴を明らかにします。

4) 使用する情報の種類

年齢、性別、診断名、患者さんの神経心理検査結果、患者さんと家族の方が回答された質問紙検査結果 等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、当院臨床心理センター内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年9月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 臨床心理センター

氏名:安田 万里子

電話:086-462-1111 内線 21537 (平日:9時~17時)

E-mail: yasuda@hp.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。研究をするために必要な資金をスポンサー(製薬会社等)から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。